

防災意識アンケート調査結果の報告

さる 5 月に実施いたしました「防災意識アンケート調査」では、集合住宅における防災活動の参考とするだけでなく、アンケートに答えて戴くことで、ご家庭での『防災への関心』が少しでも高まることを期待して行いました。

結果は別表の通りで、高い回収率と設問に対する丁寧な回答を戴き、予想以上に皆様方の防災への関心が高いことをうかがい知ることができました。

設問は、災害発生時に家庭内に備えておくことが望ましいとされる「一般的な防災備品」を中心とした項目を挙げています。

◆70%以上の家庭で保有している備品……………懐中電灯とその予備電池、携帯ラジオ

◆50%の家庭で何らかの対応をしている……………消火器、浴槽への常時水張り、
断水時の給水受け容器

※半分以上の家庭で常備している「消火器」も、これまでの防災訓練時に行われる「初期消火体験」での参加状況を見ると、実際に燃え上がった炎を消すという体験をされた方は少ないのではないかと思います。

万一の場合に、落ち着いて初期消火ができるよう、操作方法や、火炎に向う心構えを体験しておくことが、被害を最小限に止める鍵だと思います。

◆30%の家庭で対応している事項……………非常時の飲料水、持ち出し袋、安否連絡方法

◆集合住宅における特有の問題「共用部分の火災保険」については、約 80%の家庭が、「未加入」「わからない」…という回答をしています。

※『共用部分の火災保険』については、一昨年度理事会広報で特集を組んで啓発を行ってきましたが、…自分のところは延焼や水被害がないから関係ない…という訳にはいきません。ベランダや外壁、屋上などの修復費用は、棟組合員全員で負担しなければならないということのを再認識して頂くために、理事会での啓発活動をさらに推進する必要があると感じました。

◆ベランダ隔壁板付近への置物有無については、60%の家庭で「何らかの置物」を置いていると、回答していますが、植木鉢やごみ箱などが主で、隣戸から避難する際に、障害となるような物（容易に壊せない物置など大きな物など）は、置かれていないようです。

ただ、タイヤや、石油ポリタンクといった『可燃性の高い』ものについては、火災の延焼、被害の拡大を助長することにもなりますので、置き場所について再考を要するところです。

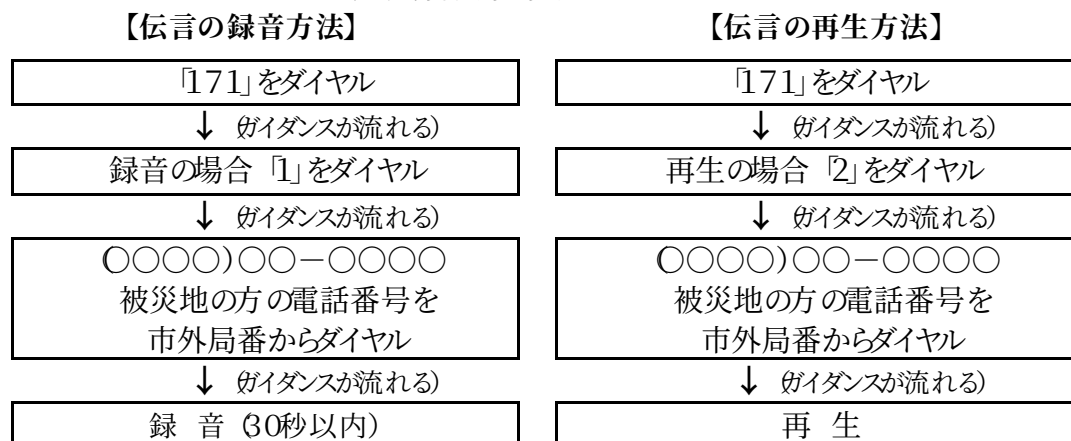
◆『災害伝言ダイヤル』について、知っている方は 10%余りでした。

これは災害被災地の内・外で利用方法が違っているので、正しく理解しておく、万一の場合の安否連絡方法として有効な手段です。

<NTT 災害用伝言ダイヤル 171>

- 大規模災害が発生した後は、電話が混み合っかかりにくくなります。
- NTT では、震度 6 弱以上の地震や水害等の自然災害で、電話が相当混み合っている場合に、災害伝言ダイヤルサービスを開始します。
- 家族が避難所などで一緒になれなくても、家族の安否を確認することができます。
- 災害用伝言ダイヤルの使い方を確認しておきましょう。
- 災害が発生していなくても、「171」にダイヤルすると、ガイダンスが流れます。（伝言の録音・再生はできません）

◆ 災害用伝言ダイヤル



【利用上の注意点】

- 伝言の録音は被災地のみで、伝言の保存期間は2日間です。
- 伝言は、数件から最大10件となっています。
- 伝言の録音・再生とも、登録無料で通話料のみ必要。
- 携帯・公衆電話からも利用できます。ただし、携帯は再生のみ。
- 利用については、災害時のみで、平常時は運用されていません。詳しくは、「ハローページ 企業名編（NTT 東日本営業のご案内）」の、「災害用伝言ダイヤル」の欄、または電話番号116、インターネット（<http://www.ntt-east.co.jp/voicem1/>）を参照してください。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

◆食品用「ラップフィルムの使い方」も、あまり知られていないようです。非常時の水節約を促すため食器洗い用の水を使わず、食器にラップをかけ、使用後はラップを廃棄して食器はそのまま使用する。ということが言われています。このほかにも便利な使い方を知っている方は是非情報をお寄せ下さい。

◆千葉県防災センターでは、自然災害が起こる原因を考えたり、過去の災害から知恵を得たり、あるいは同じ体験を通して、防災に役立つ知識や行動を見につけることができます。

団地では、大規模火災延焼の発生は例が少なく、むしろ地震発生時のパニック防止対応が最も求められると思われます。「行ったことがない」「防災センターを知らない」という方が、ほとんど全員といってよい状況ですので、自主防災会の防災訓練項目として「防災センター見学会」を考えて行きたいと思います。

以上

高花第二団地 防災意識アンケート調査 (16.05.30実施)結果報告

管理組合と自主防災会が共同で行った「防災意識に関するアンケート調査」は際しましては、多くの居住者から回答を戴き、ありがとうございました。この結果は、今後の団地防災活動の参考にさせていただきます。集計結果は以下の通りです。

回答者の居住階数		1 階	2 階	3 階	4 階	5 階	合 計 (%)	
回答数		71	69	69	60	65	334	(72)
70歳以上の居住者		19	14	7	9	3	52	
避難時に介添を必要とする人		2	4	2	4	1	13	
消火器の保有	ある	36	30	33	29	34	162	(49)
	ない	35	39	36	31	31	172	(51)
懐中電灯の保有	ある	70	67	68	59	60	324	(97)
	ない	1	2	1	1	5	10	(3)
予備乾電池の保有	ある	54	48	52	47	44	245	(73)
	ない	17	21	17	13	21	89	(27)
非常用持出袋の所有	ある	16	23	22	21	19	101	(30)
	ない	55	46	47	39	46	233	(70)
非常用飲料水の準備	ある	25	18	22	20	26	111	(33)
	ない	46	51	47	40	39	223	(67)
災害伝言ダイヤルの使い方	知ってる	7	8	7	9	11	42	(13)
	知らない	64	61	62	51	54	292	(87)
災害時の安否連絡方法	決めてる	19	16	18	21	15	89	(27)
	決めてない	52	53	51	39	50	245	(73)
携帯ラジオの保有	持ってる	43	47	49	40	44	223	(67)
	持っていない	28	22	20	20	21	111	(33)
団地共用部分の火災保険	掛ける	19	20	14	6	15	74	(22)
	掛けてない	23	21	24	23	28	119	(36)
	わからない	29	28	31	31	22	141	(42)
日常浴槽への水張り	張ってる	43	42	27	36	33	181	(54)
	張ってない	28	27	42	24	32	153	(46)
断水時の水汲み容器有無	ある	34	43	31	30	39	177	(53)
	ない	37	26	38	30	26	157	(47)
隔壁板付近の置物の有無	置いてる	25	23	21	28	29	126	(38)
	置いてない	46	46	48	32	36	208	(62)
断水時のラップフィルム応用	知ってる	13	10	7	7	10	47	(14)
	知らない	58	59	62	53	55	287	(86)
県防災センターについて	行ったことがある	1	3	2	3	3	12	(4)
	行ったことがない	46	49	39	38	47	219	(66)
	知らない	24	17	28	19	15	103	(31)